

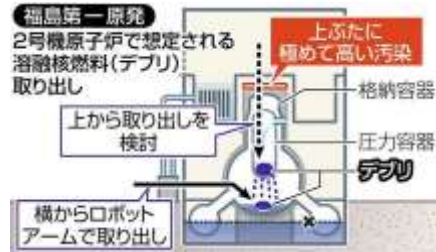
## 報告：原発問題をめぐる全体状況

@第97回脱原発八千代ネットワーク定例会

2021年2月15日（仮原稿） 川井康郎

### 1. フクシマの状況

- (1) 福島第一のトリチウム他汚染水の海洋放出決定は地元、漁連、多くの関係者らの反対により見送られている。溜まった汚染水は現在約124万トン。東電はタンクが満杯になる見込み時期を2022年「夏」から「秋以降」に先延ばし。
- (2) 1Fの2, 3号機格納容器上蓋（シールドプラグ）が30-70ペタベクレルと大量汚染されていることが判明。廃炉ロードマップによるデブリ取出しが困難となり、規制委は「極めて深刻」とみている。
- (3) 1/21 東京高裁は控訴審により群馬地裁の判決を覆し、国の責任は認めず東電にのみ賠償命令を下した。千葉訴訟（第一陣）の高裁判決は2/19の予定。
- (4) 福島県によれば震災と原発事故による避難者数は約3.6万人と。一方、共同通信の調査（1/30）によると県内各自治体が挙げる避難者の総数は6.7万人と大きな差がある。これでは適切な支援は困難。



国の責任が争われた全国原発訴訟の判断

※○は国の責任を認める、×は認めず

1審(地裁)		2審(高裁)	
前橋	2017年3月 ○	東京	21年1月21日 ×
千葉	9月 ×	東京	2月19日 ?
福島	10月 ○	仙台	20年9月30日 ○
京都	18年3月 ○	大阪	審理中
東京	同 ○	東京	審理中
横浜	19年2月 ○	東京	審理中
千葉	3月 ×	東京	審理中
松山	同 ○	高松	審理中
名古屋	8月 ×	名古屋	審理中
山形	12月 ×	仙台	審理中
札幌	20年3月 ○	札幌	審理中
福岡	6月 ×	福岡	控訴中
仙台	8月 ×	仙台	控訴中
東京	10月 ×	東京	控訴中

### 2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 稼働状況：運転中は大飯③、玄海③④、川内①の4基。定期点検中の高浜③④は蒸気発生器の細管で発見された減肉損傷の原因調査中で再稼働は遅れている。大飯③は2020.12.4 の大阪高裁による設置許可取り消し判決にも拘わらず被告側控訴のため1/15に再稼働した。
- (2) 2/8 柏崎刈羽原発において、昨年9月に入室カードを紛失した社員が同僚のカードを使って警備をすり抜け、中央制御室に不正入室したことが判明。最も厳重な管理が求められる制御室でずさんな実態が浮かび上がった。規制庁による事態の隠ぺいもさることながら、東電の事業者としての適格性が改めて問われている。
- (3) 2/15 野瀬福井県高浜町長は40年を超えた老朽原発の関電高浜原発1,2号機の再稼働同意を表明。なお、これまで規制委員会により運転延長を認められた原発は美浜3号機、東海第二を加えて4基あり。  
今後は福井県の判断が焦点となるが、杉本知事とは使用済み燃料の搬出先について合意が出来ていない。2/12 関電森本社長は「中間貯蔵施設候補地提示の最終期限を2023年末としたい」と表明。

### 3. その他のトピック

- (1) 1/22 批准国が 50 カ国に達し (2020.10.24) 核兵器禁止条約発効。核保有国に加え、カナダ、ドイツ、オーストラリア、韓国、日本などは「核抑止力は有効な手段として機能している」として不参加。
- (2) 1/27 経産省総合資源エネルギー庁分科会は新增設や建替えが進まない場合、2060年に運転可能な原発は最大で 8 基なるとの見通しを示した (危機感?)。現在、廃炉決定済みを除く国内原発は 36 基。
- (3) 2/14 毎日新聞世論調査によると原発ゼロ 39%、ある程度必要 56%、増やすべき 4%と。脱原発世論は後退か?
- (4) 2/13, 23:08、福島県沖で M7.3、最大震度 6 強の地震発生。近隣の核施設は 1F、2F、女川、東海第二、東海再処理、大洗、柏崎刈羽、米軍横須賀基地。

<以上>